第８　碧南市生物多様性地域戦略



碧南市生物多様性地域戦略は、国の計画である生物多様性国家戦略を基にし、碧南市の生物多様性の状況に合わせた保全と持続可能な利用に向けた取り組みを示すものとなります。

生物多様性地域戦略は地域の特色を生かした取り組みを含んだ計画で、身近な環境で生息する昆虫や植物のほか、自然の恵みとして利用されている農作物についても計画の対象とされています。

水辺や都市の緑地の保全､外来種駆除等の基本施策を行いながら､生物多様性の保全を、行政、事業者、民間団体、地域住民などによる取組を進めて自然と市民が豊かなふれあいのある共生のまちづくりを目指します。

１　碧南市生物多様性地域戦略に関する施策

自然と市民が豊かなふれあいのある共生のまちづくりを目指すための取り組みとして、碧南市環境基本計画に記載の４つの基本施策で事業を実施しました。

(1) 水辺環境の保全と創造

主 な 事 業	実 績(令和7年度実績)
矢作川水源基金事業（再掲）	令和７年８月３０日実施
内水面漁場清掃委託事業	令和７年１１月１５日実施
県営油ヶ淵水辺公園の第１期整備区域の整備	３．１ｈａを整備 （全体で１４．８ｈａ）※
油ヶ淵ルネッサンス事業（再掲）	西端地区下水道普及率 市街化区域内　１００％

※碧南市側の整備面積を掲載

(2) 緑地の保全と創造

主 な 事 業	実 績(令和7年度実績)
地産地消推進（再掲）	もぎ取り体験等５事業を実施
公園整備の推進（緑の基本計画）	市内全箇所数　５１箇所

(3) 外来種駆除

主 な 事 業	実 績(令和7年度実績)
オオキンケイギク啓発駆除活動（再掲）	９００ｋｇ駆除
獣類を対象とする捕獲箱の貸し出し	貸出件数　７件